

## 令和3年度第4回相生市学校教育審議会概要

日時：令和3年10月27日（水）19時00分から20時20分

会場：扶桑電通なぎさホール中ホール

出席者：安藤会長・山田委員・松下委員・榊田委員・長棟委員・坪井委員・  
長谷川委員・高根委員・松原委員・坂本委員・森上委員

事務局：浅井教育長・宮崎次長・山本次長・佐原管理課長・  
木本学校教育課長・富田管理課副主幹

事務局 定刻となりましたので、ただ今から、令和3年度第4回相生市学校教育審議会を開催いたします。  
はじめに、浅井教育長よりご挨拶を申し上げます。

教育長 こんばんは。今回も出にくい中、出席いただきありがとうございます。さて、新型コロナウイルスでございますが、相生市の幼小中学校園において新学期以降感染者は出ておりません。  
また、12歳以上の子どもたちについても、積極的なワクチン接種が進んでおり、保護者の方の新型コロナウイルスに対する意識の高さに感謝しております。我々も十分に気を付けて、学校の教育活動を続けていきたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。  
本日も長時間の審議になりますが、よろしくお願いいたします。

事務局 ありがとうございます。それでは、以降の進行については、安藤会長、よろしくお願いいたします。

会長 それでは、次第に従いまして、進めさせていただきたいと思っております。本日も委員の皆様にはスムーズな議事の進行にご協力をお願いします。  
まず、本日の委員の出席状況を報告させていただきます。

事務局 本日の審議会の委員の出席状況につきまして、ご報告いたします。本日の出席委員は12人中、10人の委員に出席していただいております。相生市学校教育審議会条例第6条第2項の規定により、過半数の出席がありますので、本会議が成立していることをご報告いたします。

会長 続きまして、議事録署名委員の指名ですが、長棟委員を指名いたします。議事録の署名については、事務局が本日の議事録を作成後、内容をご確認いただき署名をお願いします。  
次に、本日、傍聴希望はありますか。

事務局 傍聴希望者はありません。

会長 それでは、議事に入ります。まず、「第2次相生市教育振興基本計画(素案)について」を議題とします。事務局、説明をお願いします。

事務局 (資料に基づき説明)

会長 審議会の意見をうけて修正があった部分の説明が終わりました。多岐に渡りますので時間をとりたいと思います。

会長 それでは、ご質問等ございませんか。

会長 松下委員からの意見がありました補導の件については、今回は変更しないということでありました。しかし、今後は、他市の状況を見ながら、相生市の規則等についてご検討をいただきたいということを審議会としての意見とさせていただきます。

委員 提案に対して審議いただきありがとうございました。条例等において補導委員などの言葉がありますので、急な変更は難しいという思いはありました。ただ、育成センターの中で「補導巡回相談」を「補導(声かけ活動)」に変えています。

また、来年度からは実際の活動にあった形の「巡回声かけ活動」に変更したり、「小中高補導連絡会」を「小中高生徒指導連絡会」に変更したりと実際の活動の中から変えていけたらと思っていますので、今後とも他市の状況を見ながら検討をお願いします。

会長 他にいかがでしょうか。

会長 それでは、他に質問等がないようでしたら、基本計画については了承ということでよろしいでしょうか。

委員 異議なし

会長 それでは、続いて「第2次相生市教育振興基本計画に係る基本目標(案)について」を議題とします。事務局、説明をお願いします。

事務局 (資料に基づき説明)

会長 説明が終わりました、基本目標(案)についてご意見・ご質問等ございませんか。

委員 基本目標にある「絆ひろがる」というのは、相生市総合計画にもある言葉ですのでいい言葉だと思います。

一点お尋ねします。目標の最後が「相生の教育」という言葉で終わっていますが、今回は、「教育の創造」ということで、述語的な形で終わっているの、目標ということであれば基本方針にあるように「推進」等の言葉をつける方がいいのかなと感じました。

事務局 委員のご意見を踏まえて、改めて検討させていただきます。

会長 他にご意見等はどのようなのでしょうか。他市では「共に生きる人づくり」などがありました。

委員 基本目標（案）については、背景を読めば意味するところは分かりますので、これを基本理念的なものとして、サブタイトルに「創造」等の言葉入れるというのものもあるのではないかと感じました。

会長 前回の計画には、サブタイトルがありました。

教育長 前計画は、初めての教育振興基本計画であったため、「相生の子どもたちの将来に幸せを贈る教育の創造」ということで「相生の」という言葉を入れずに「教育の創造」としています。今回は、第1次で相生のスタイルが確立し、さらに進めていこうということから、あえて「相生の」という言葉を入れて「相生の教育」としております。

先ほど、委員のご意見を聞いて、言葉を付けるとすれば「推進」という言葉が成り立つのかなと思っております。1次で相生の教育を創造してスタイルをつくり、2次でさらに進めていくという考えを持っていますので、言葉をつけるとすれば「推進」があってくるのかなと思います。

基本目標の考え方としては以上になります。

会長 教育長より基本目標の意図がありましたが、それを踏まえてご意見等をお願いします。

教育長のお話を聞きまして、「推進」以外では、私は「拡充」という言葉もいいのではないかと感じました。漢字だと堅い印象だということであれば、ひらがなで「づくり」というものもあるかなと思います。

今後10年の相生の方向性となりますので、忌憚のないご意見をお願いします。

会長 それでは、「教育」という言葉で終わるのか、教育長からあったように「推進」等の前に向くような言葉をつける方がいいのかというところを多数決でいきたいと思います。

委員 【多数決により「相生の教育」に言葉を加えることとする】

会長 今後は、事務局で検討いただき、最終的な文言の調整及び決定については私と会長代理に一任いただくということによろしいでしょうか。

委員 異議なし

会長 それでは、続いて「第2次相生市教育振興基本計画に係る指標（案）について」を議題とします。事務局、説明をお願いします。

事務局 （資料に基づき説明）

会長 説明が終わりました、指標（案）についてご質問等ございませんか。

委員 第1回の審議会では指標は示しにくいと言いましたが、この案を見ると、全国的なものを指標にしてありますし、例えば全国学力状況調査は一般的にはテストだけしていると思われていますが、実際には細かいアンケートがされていて、さらにそれをクロス集計等もしております。それを有効に活用することは重要だと思いますので、それを指標に使うのはいいことだと思います。

学校評価についても第1次の際は、市内の小中学校が統一されていないという状況でしたが、平成27年度からは統一されており、同じ目線で指標になると思うのでいいのではないかと思います。

会長 他にはいかがでしょうか。

会長 数値の設定の仕方は総合計画に従ってという説明がありましたが、どういった方法になるのでしょうか。

事務局 総合計画では、4段階評価等の中で否定的な回答をされた方を10年後に一定割合を肯定的な回答に引き上げるという目標値の算定方法により、設定しておりますので、それに準じて設定しております。

委員 5年後、10年後に同じ人にアンケートをするわけではないので、結果が分からないのではないかと。

事務局 人は変わりますが、対象とする集団は同じですので、その年代の結果として推移を把握することは可能であると考えております。

委員 社会環境等の要件が違ってくるなかで、これを指標にするというのは疑問がある。

事務局 環境が変わっても、相生市のその学年の集団の数値を上げていこうということですので事務局では問題がないものと考えております。

委員 目標なので上げていくことが目標だと思いますが、全てが上がっているので現実的には現状維持というのもあるかと思います。

事務局 この計画は、現状維持の計画ではなく、相生の教育をよりよくしていく計画でありますので、上向きの数値目標を設定して取り組んでいきたいというのが事務局の考えになります。

委員 100%になれば目標がなくなるということでしょうか。

教育長 100%になれば達成できたということで、指標を変えればいいということになります。

委員 その指標が今後、落ちることもあるかと思いますが、100%になったものは外していくということでしょうか。

事務局 達成したものは100%を維持しながら、新たな指標を設定するということになります。

委員 維持していくものもあれば、進化していくものもあるということですね。

事務局 はい。

会長 他にいかがですか。

委員 全国調査が指標となっているのは、推移が測れるのでありがたいです。また、学校評価も指標になっているので、各学校はしっかり評価をしていかないといけないなと感じました。

1-5の2つ目の指標だけ学校の割合となっているのが管理職が答えたものなのか、教職員が答えたものなのかどちらになりますか。

事務局 学校ではなく教職員の割合として設定させていただきます。

会長 その場合、学校によって偏りがあってもいいということでしょうか。

- 事務局 低い学校の取組を進めていくということになります。
- 会長 この項目は、学校評価の項目として使っているのでしょうか。
- 委員 現状、同じ文言での学校評価項目はありませんが、ニュアンスが同じものはあります。
- 会長 同じような事は聞いているということですね。
- 委員 チーム学校というような言葉でみんな課題に取り組みましょうということをやっている中で、この指標は常に意識してやっているので、この項目はとる必要があると考えます。
- 委員 教育振興基本計画に基づいて学校評価をつくるというガイドラインになっていますので、この項目は必ずでてくると思います。
- 事務局 学校評価ガイドラインをこれにあわせて作り直し、来年度からの学校評価を各学校で行っていくことになります。現状が「－」になっている指標については、来年度から新たに設定する項目ということになります。
- 会長 それでは、他に質問等がないようでしたら、指標（案）については了承ということでよろしいでしょうか。
- 委員 異議なし。
- 会長 それでは、全体を通してご質問等ございませんか。  
本日が審議ができる最終になりますので、よろしくお願いいたします。
- 委員 基本目標について、1点確認をさせていただきます。教育長の話にありました「相生の教育」というのは、ひとつの単語・ひとつの言葉という捉え方でよろしいのでしょうか。
- 教育長 相生独自の施策や取組で学校教育分野では、学び塾や給食費無料化、ワンピースイングリッシュ、幼小中地域まるごとつながり等の相生独自の取組を前回の計画の中で進めてきましたので、それを総括して「相生の教育」として表現しております。
- 委員 兵庫県は、阪神淡路大震災を経験して他の県より防災教育が進んでいます。最初は、県教委は「新たな防災教育」といっていましたが、今では「兵庫の防災教育」といっていますので、これと同じような考え方が

なと思いました。それであればひとつのワードとして使って、それに何かを加えるというのはいいと思います。先生方もそういった意識を持っていくべきだなと感じました。

会長       基本目標において、相生の教育に「 」(かっこ)を付けるとひとつの単語となって、相生がやってきたという意図は伝わりやすいのかなと思いました。

会長       他にはいかがですか。ないようでしたら、本日の議事は全て終了となります。  
              続きまして、その他に移ります。事務局からお願いします。

事務局     それでは、次回第5回は、11月15日(月)19時から予定させていただきます。次回は、本日のご意見を踏まえた最終案を事前に送付させていただきますので、ご確認いただき学校教育分野の答申をいただきたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。  
              以上でございます。

会長       ご質問等は大丈夫でしょうか。ないようであれば、第4回審議会を終了させていただきます。ありがとうございました。